

より多くの人が使える、
共用品・共用サービス、



2018年1月11日

公益財団法人 共用品推進機構 星川 安之

1. 共用品とは

2. 推進する組織

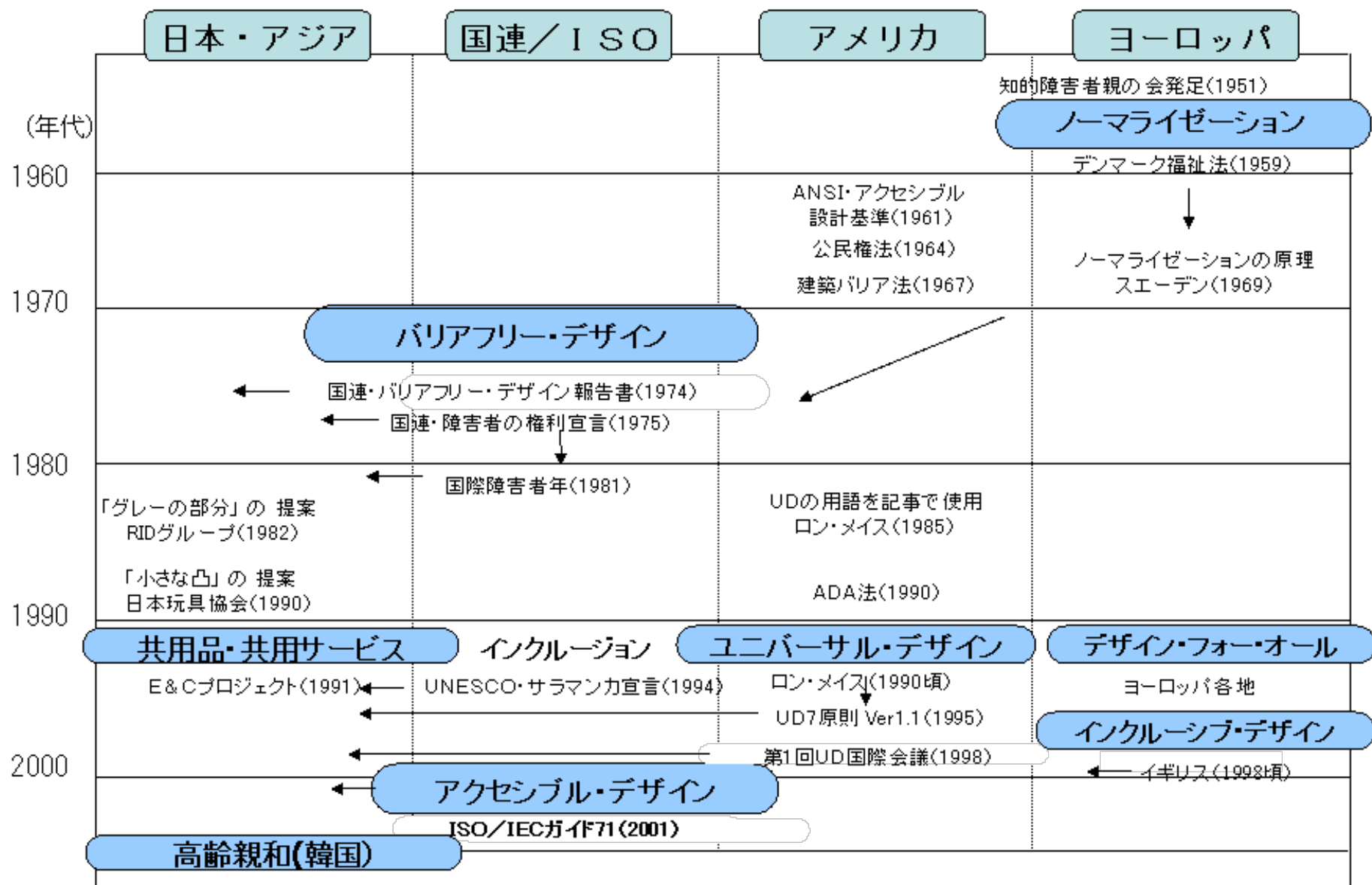
3. 不便さ調査・便利さ調査

4. 共用サービスとは

5. 便利さのルール作り

6. まとめ

主要な概念の登場と日本への波及

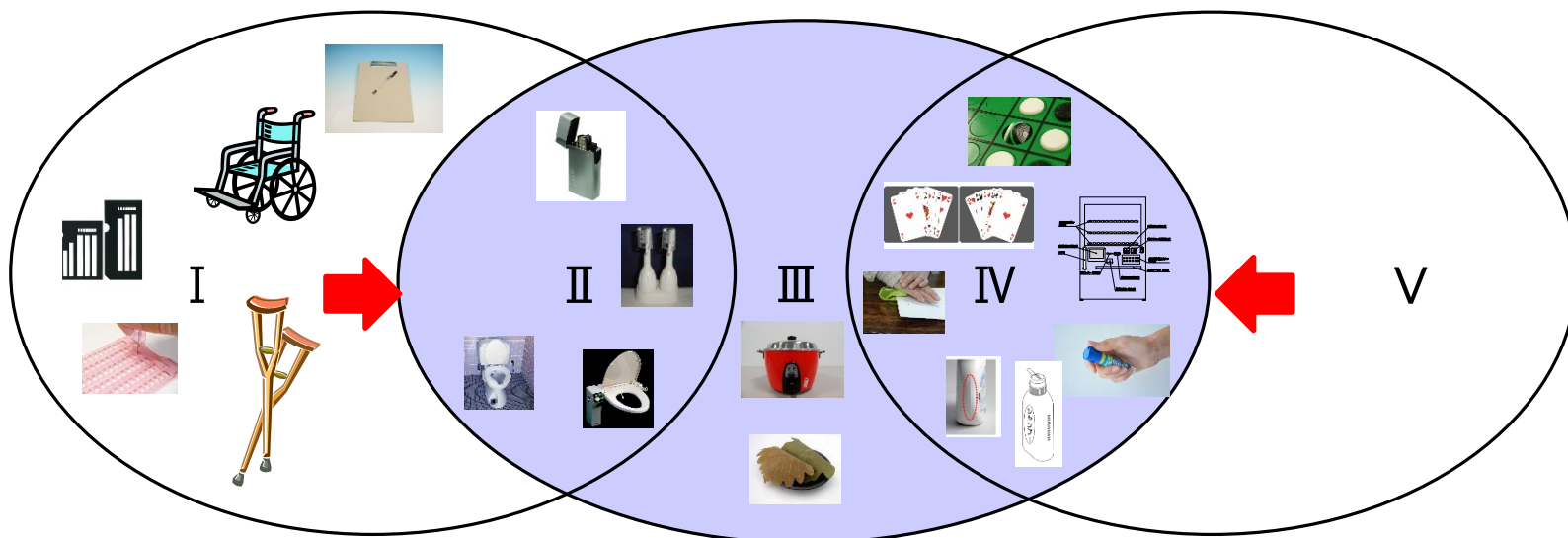


共用品・共用サービス

福祉用具

共用品

一般製品



I. 専用福祉用具

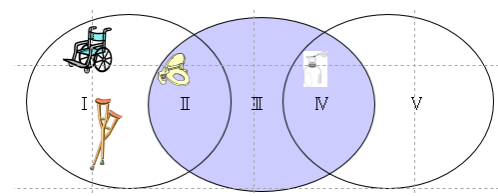
III. 共用設計製品

V. 一般製品

II. 共用福祉用具

IV. バリア解消製品

Ⅱ. 共用品（共用福祉用具）



ライター



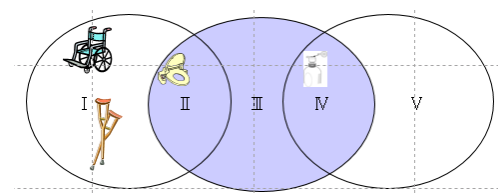
温水洗便座



電動歯ブラシ



IV. 触って分かる共用品



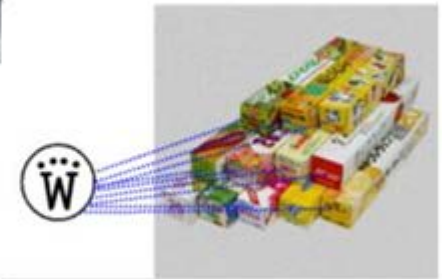
ギザギザ付きシャンプー



牛乳パックの切り欠き



点字付きビール缶

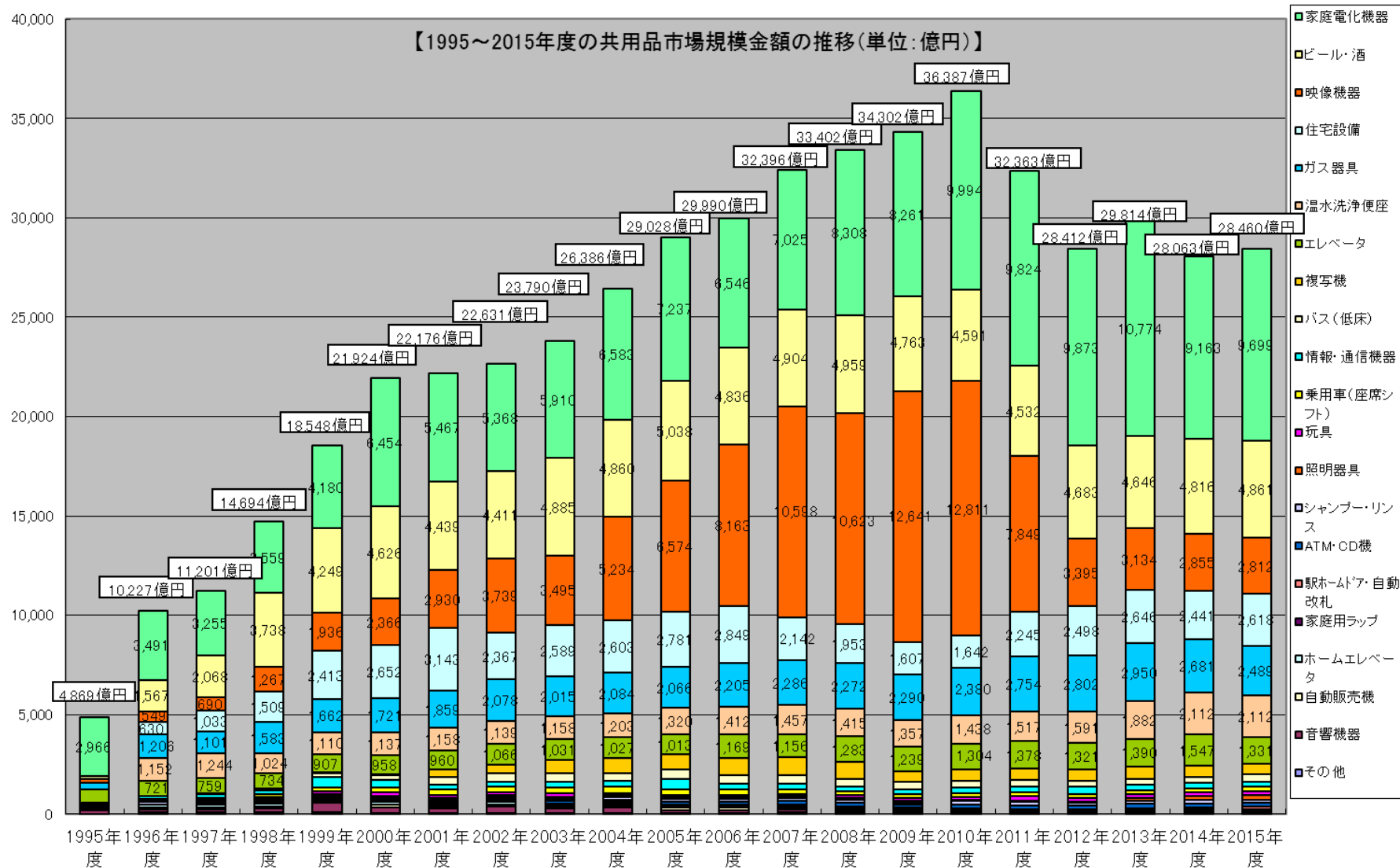


ラップのエンボス加工 (W)



「共用品」市場規模調査

【1995～2015年度の共用品市場規模金額の推移(単位:億円)】



1. 共用品とは

2. 推進する組織

3. 不便さ調査・便利さ調査

4. 共用サービスとは

5. 便利さのルール作り

6. 共用品・共用サービスの伝え方

共用品推進機構の事業

1991年～市民団体
1999年～財団法人
2012年～公益財団法人

2013年8月26日

①「不便さ調査」



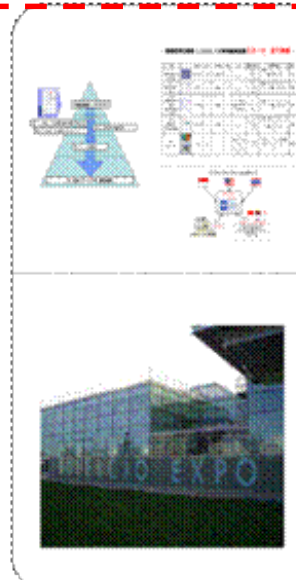
②「配慮」



「国内標準化」



「国際標準化」



③「普及」



「次世代を担う子ども達」へ



1. 共用品とは

2. 推進する組織

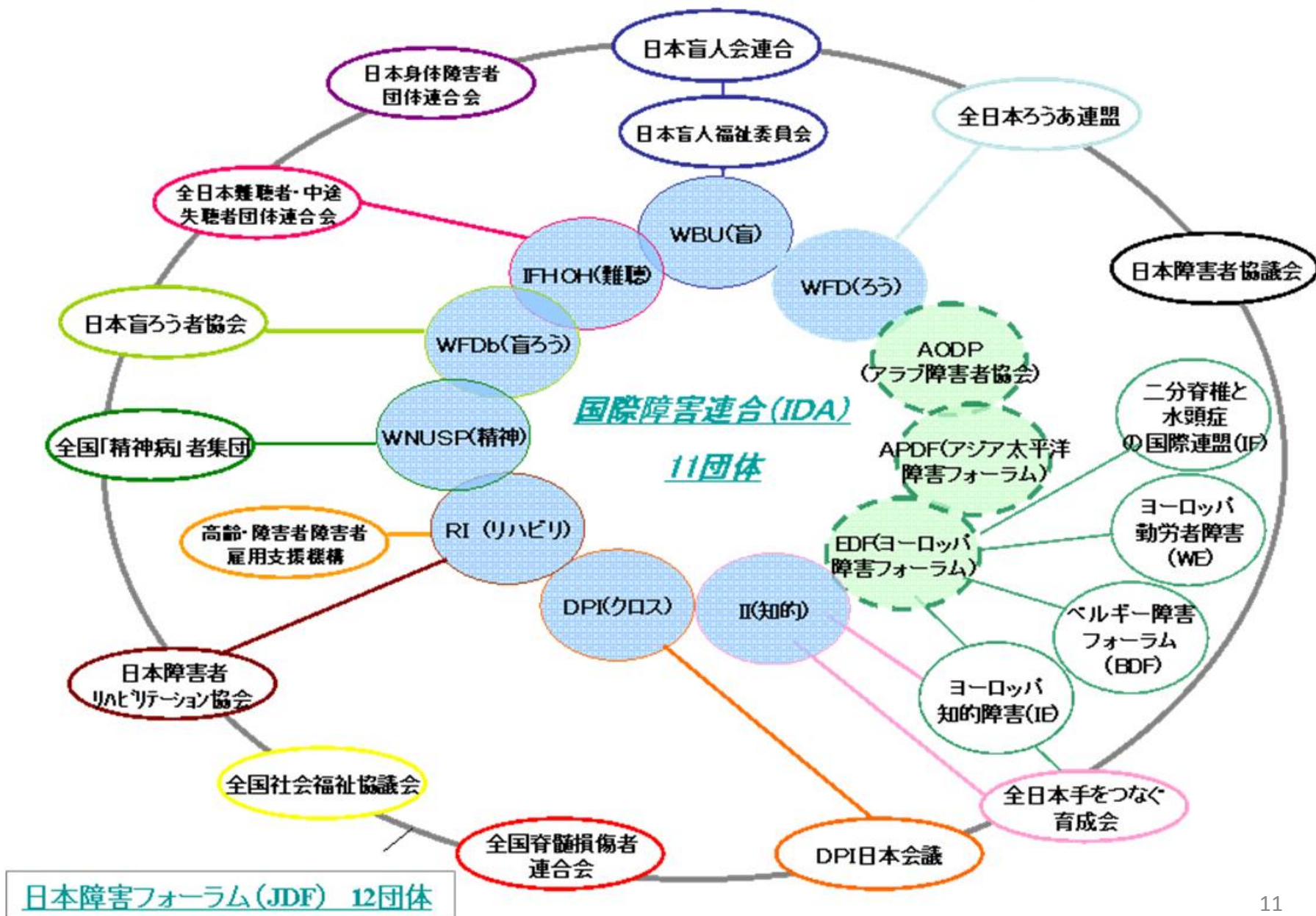
3. 不便さ調査・便利さ調査

4. 共用サービスとは

5. 便利さのルール作り

6. まとめ

国内外障害者団体



視 覚 障 害

3人 → 30人 → 300人以上



空いているかわからない



自転車が置いてある



どこにあるかわからない



カードの区別がつかない



手紙の区別がつかない



ラベルがわからない



聴覚障害



警告が聞こえない



放送が聞こえない



話しているのに気がつかない



講演会で人の話が聞こえない



呼ばれてもわからない



家の中の音が聞こえない

肢体不自由



隙間にはさまる



高いところが良く見えない



段差があり進めない



拾うのが大変



高くて取れない



テーブルの高さが合わない

車いす使用者の日常生活の不便さに関する調査

2002年6月

財団法人共用品推進機構

高齢者



高くて大変



高いものがとれない



お風呂もトイレも寒い



家事が大変

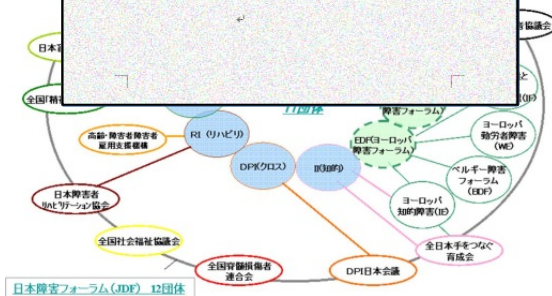


蓋が開かない



使い方が分からない

公益財団法人共用品推進機構
平成26年3月

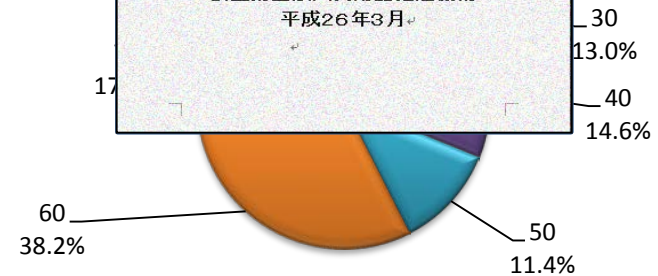


共通質問システム

障害の種類	人数
盲	27
弱視	15
聴覚障害	34
知的障害	25
精神障害	14
発達障害	33
身体障害	21
障害者	24
障害者	31
高齢者	1
その他	19

よかったこと

公益財団法人共用品推進機構
平成26年3月



高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー ～マイサイズ!あなたに合わせたモノ展～

「マイサイズ!あなたに合わせたモノ展」では、三つのポイントから、マイサイズをご紹介します。

1. それぞれの人に合わせられるモノ
2. それぞれの人の身体特性に合ったそれぞれのモノ
3. それぞれの人の感覚特性に合ったそれぞれのモノ

これまでのモノづくりの多くは、「モノに人が合わせる」ことが多かったのですが、これからのモノづくりは、「モノをあなたに合わせる」ことが大切になってきます。どんな小さなモノでも、マイサイズが見つかったら嬉しいものです。

あなたのマイサイズはどのようなものですか？

また、みんなに紹介したいマイサイズがありましたら教えてください。

主催：一般財団法人 保健福祉広報協会/
企画・監修：公益財団法人 共用品推進機構

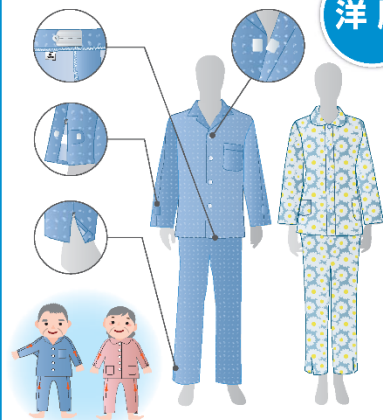


それぞれの人に合わせられる「モノ」

机



洋服



それぞれの人の「身体特性」に合ったそれぞれの「モノ」

お 椀



ラバー



体温計



フォーク



靴



共用品データベース



高コントラスト



テキスト版



1. 共用品とは

2. 推進する組織

3. 不便さ調査・便利さ調査

4. 共用サービスとは

5. 便利さのルール作り

6. 共用品・共用サービスの伝え方

こちらに
ます。
おき

あそこです

そちらです
か？

どこですか？



30センチ前に
あります。

左斜めまえで
す



1. 共用品とは
2. 推進する組織
3. 不便さ調査・便利さ調査
4. 共用サービスとは

5. 便利さのルール作り

6. まとめ

標準化は何のため

①相互理解の促進



7つの基本単位で構成される国際単位系

基本単位	名称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
光量	カンデラ	cd
物質	モル	mol

②安全性の確保(危険な事故や危害を防止する)



③品質の確保(製品の一定の品質や性能を保つ)



④互換性の確保



⑤環境の保護(環境にやさしい製品を作る)



⑥省エネルギー(熱効率の向上・省電力)

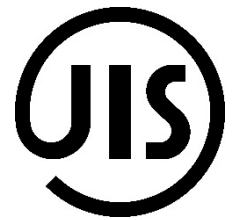


⑦消費者保護、高齢者・障害者対応(誰もが安心して使える)

シャンプーと、ボディソープの触覚識別表示

日本工業規格

JIS
S 0021 : 0000
(ISO 11156 : 2011)



包装—アクセシブルデザイン—一般要求事項

Packaging— Accessible design— General requirements



図 C.1.2—容器に触覚記号を付加
洗髪料



図 C.1.3—容器に触覚記号を付加
身体用（顔用及び頭髪を除く）洗浄料

日本提案、『ISO/IEC Guide 71』

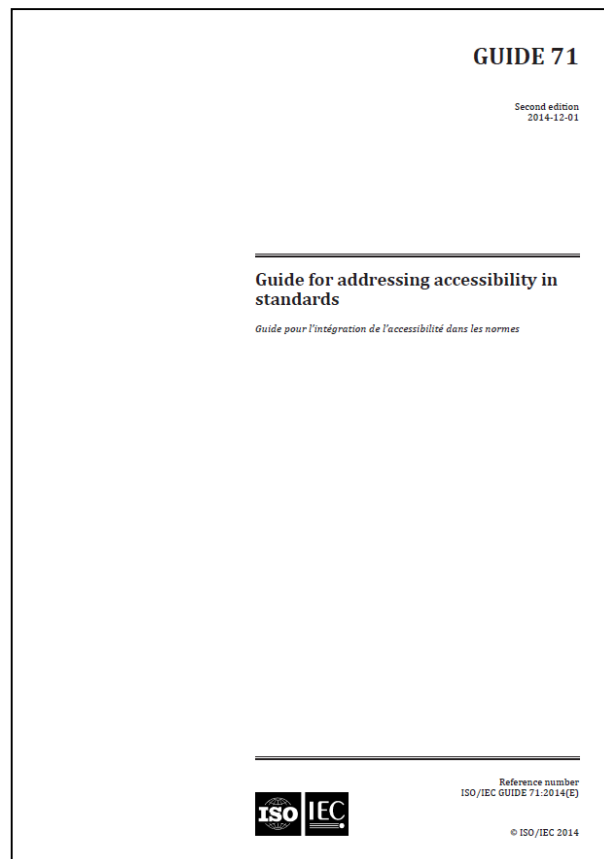
13年ぶりに改訂、2014年12月1日 発行

高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した
規格作成配慮指針



2001年11月 発行

規格におけるアクセシビリティ配慮のためのガイド



2014年12月 発行

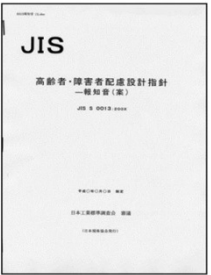
共用品関連JIS 37種類 2018年1月10日現在

基本規格	
1	JIS Z 8071 高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作成配慮指針
視覚的配慮	
2	JIS S 0031 視覚表示物－年代別相対輝度の求め方及び光の評価方法
3	JIS S 0032 視覚表示物－日本語文字の最小可読文字サイズ推定方法
4	JIS S 0033 視覚表示物－年齢を考慮した基本色領域に基づく色の組合せ方法
聴覚的配慮	
5	JIS S 0013 消費生活製品の報知音
6	JIS S 0014 消費生活製品の報知音－妨害音及び聴覚の加齢変化を考慮した音圧レベル
触覚的配慮	
7	JIS S 0011 消費生活製品の凸記号表示
8	JIS S 0052 触覚情報－触知図形の基本設計方法
9	JIS T 0921 点字の表示原則及び点字表示方法－公共施設・設備
10	JIS T 0922 触知案内図の情報内容及び形状並びにその表示方法
11	JIS T 0923 点字の表示原則及び点字表示方法－消費生活製品の操作部(2009)
12	JIS T 9253 紫外線硬化樹脂インキ点字－品質及び試験方法
13	JIS X 6302-9 識別カード記録技術-「第9部: 触ってカード区別するための凸記号
14	JIS X 6310 プリペイドカード－一般通則
包装・容器	
15	JIS S 0021 包装・容器
16	JIS S 0022 包装・容器－開封性試験方法
17	JIS S 0022-3 包装・容器－触覚識別表示
18	JIS S 0022-4 包装・容器－使用性評価方法
19	JIS S 0025 包装・容器－危険の凸警告表示－要求事項

消費生活製品	
20	JIS S 0012 消費生活製品の操作性
21	JIS S 0023 衣料品
22	JIS S 0023-2 衣料品－ボタンの形状及び使用法
施設・設備	
23	JIS S 0024 住宅設備機器
24	JIS S 0026 公共トイレにおける便房内操作部の形状、色、配置及び器具の配置
25	JIS S 0041 自動販売機の操作性
26	JIS T 0901 視覚障害者の歩行・移動のための音声案内による支援システム指針
27	JIS T 0902 高齢者・障害者配慮設計指針－公共空間に設置する移動支援用案内
28	JIS T 9251 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列
情報通信	
29	JIS X 8341-1 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第1部: 共通指針
30	JIS X 8341-2 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第2部: 情報処理装置
31	JIS X 8341-3 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第3部: ウェブコンテンツ
32	JIS X 8341-4 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第4部: 電気通信機器
33	JIS X 8341-5 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第5部: 事務機器
34	JIS X 8341-6 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第6部: 対話ソフトウェア
35	JIS X 8341-7 情報通信における危機、ソフトウェア及びサービス－第7部: アクセシビリティ設定
コミュニケーション	
36	JIS S 0042 アクセシブルミーティング
37	JIS T 0103 コミュニケーション支援用絵記号デザイン原則

報知音

区分	パターン	種別	ON時間 s	OFF時間 s
受付・スタート音	ON	単純音 (1回)	0.1~0.15	—
停止音	ON	単純音 (1回)	0.5~0.6	—
基本音	ON1 ON2 OFF 備考 ON1~ON2 ON2OFF	組合せ音 (1回)	0.05~0.075 0.005~0.075	—



音の高さは、2500ヘルツ以下に

位置	8312操作具位置
	8213サービス情報
8 3 2 建 物	8222手すり位置
	8222操作具・位置

81211 製品の大きさ
81212 取り扱い説明書

最小可読文字・相対性輝度

点字の併記

複数の代替情報

文字の大きさ

背景とのコントラスト

せっさたくま
切磋琢磨

わかりやすいパッケージ
Readily identified package
알기쉬운 패키지

ルビ、他言語

図記号・触図



TC173/SC7/WG1点字表示-原則

図1 点字の間隔

図2 点字の断面形状

単位 mm	
寸法	
d	1.3~1.7
h	0.3~0.5

表3 点字の直径及び高さ

d:底面の直径
h:点の中心の高さ

コミュニケーション支援用ボード



話しているのに気がつかない



T 0103 : 2005

中分類	番号	名	絵記号	番号	名	絵記号
101 人物	101009	おじいさん		101010	おばあさん	
	101011	私		101012	あなた	
	101013	友達				
102 職業	102001	教師		102002	警官	
	102003	医者		102004	看護婦	
	102005	消防士				



(

(

(

(

(

(

(



(

(

(

みんなの会議、日本及び世界のルール作り

字や絵



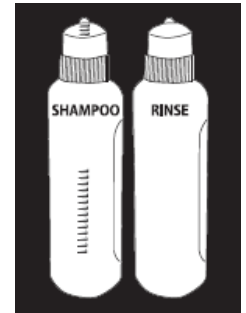
コントラストをはっきりさせ、
読みやすくする。

音の高さ

表1 操作確認音のON/OFFパターン

区分	パターン	種別	ON 時間 ※	OFF 時間 ※
受付・スタート音	ON 	単純音 (1回)	0.1~0.15	—
停止音	ON 	単純音 (1回)	0.5~0.6	—
基点音	ON1 ON2 OFF 備考 ON1=ON2 ON≧OFF	組合せ音 (1回)	0.05~0.075	0.025~0.075

2500Hz以下の高さの音は、
高齢者にも聞きやすい。



シャンプー容器のギザギザ、 リンス容器識別



小さな凸を触って数字や
スイッチを確認できます。

「みんなの会議」では、障害の有無、年齢の高低、言語の違いにかかわらず、誰もが自分の意見を言うことができます。

公益財団法人 共用品推進機構

表皮水泡症友の会 DebRA JAPAN

困難なこと = 手で回すこと



ゲーでも使える 構造



アレルギーポット

■アレルギーとは

自分の身体を守る力が強すぎて、自分の身体にダメージを与える状態をアレルギーといいます。特に小児の喘息は、アレルギーとの関わりが強い疾患です。

■アレルギーポット

アレルギーを支える全国ネット「アレルギーポット」は、2002年にアレルギー疾患の子供の親及び関係者が中心となり発足しました。目的は、学校や保育園、幼稚園の入園・入学時に、アレルギー疾患の子どものことをクラスメイトに、理解してもらい、子ども達が安全に教育を受けられる社会基盤を整備することです。そのための活動は、アレルギー疾患の子ども達に関係する医療・研究・行政・他の患者・患者支援・企業・報道機関との協働作業で行われてきました。

たまごのたまちゃんの
しらなかったこと
(しょもつアレルギー)



心臓病のこどもを守る会

兎に角、「軽い」モノ



軟骨無形成症 つくしの会

投影のみ

小学校施設改修例・仲調の一例 5a



※車椅子は
→床ではなく、車椅子に座っていてもいい
ように、床が低くならないで、そのままだ
えです。



※車椅子は必ずしも必要ありません。子どもが自分で座れるので、クッションをはさんでいます。



特徴的な体型を呈する
軟骨無形成症児

在宅ケア もの・こと・思い研究所

1. 調査研究

- (1) 在宅療養者のニーズの確認
- (2) 介護者が使用する製品・サービス・療養環境の実態調査
- (3) 在宅療養者が使用する製品・サービス・療養環境の実態調査

2. 標準化の推進

- (1) 標準化の適用範囲の検討
- (2) 適用範囲案、JIS目次だての作成

3. 普及・啓発

- (1) データベースホームページ
- (2) 各種セミナー
- (3) その他

4. 人材育成

5. プラットホーム運営



1. 共用品とは
2. 推進する組織
3. 不便さ調査・便利さ調査
4. 共用サービスとは
5. 便利さのルール作り

6. まとめ



公益財団法人 共用品推進機構

専務理事 星川安之

FZG01477@nifty.com